

アイデアの提案

チームメンバー：小宅臯月、花田千紗、恒川愛乃、佐々木福音、小川優介

目的

様々なアイデア発想法を試し、グループでアイデアを共有し、その経験を社会に生かすことを目的とした。TOKYO MIDTOWN AWARD 2022 デザイン部門に応募することをその活動とし、コンテストの最優秀賞を目指した。

TOKYO MIDTOWN AWARD とは

東京ミッドタウンが「JAPAN VALUE」、新しい日本の価値・感性・才能を創造・結集し、世界に発信し続ける街」をコンセプトに、才能あるデザイナーやアーティストとの出会いや応援、コラボレーションを目指して、デザインとアートの2部門で開催するコンペティションのこと。

活動内容

様々な色の付箋を使って、コンセプトの連想を行った。共通している単語や文章を書き、グループ化したり、内容を更に具体的にすることで新たな考えを導き出した。アイデアの発散、収束を繰り返すことでコンセプトを固め、成果物に磨きをかけた。

募集テーマ

「TRIP」

2022年、そろそろパンデミックが終息してほしい。そして、また旅に出かけたい。

コンテストの詳細

これからの「TRIP」にまつわるデザイン、アイデア、プロジェクトを募集。A3サイズ1枚をPDF化して提出。「タイトル」「コンセプト」「全体図」を必ず記入。2次審査では、模型とプレゼンテーションで審査を行う。賞金総額220万円。グランプリ受賞には、世界最大規模の「ミラノサローネ国際家具見本市」開催中にイタリア・ミラノへ招待。受賞・入選作は実現化、商品化に繋げる。

①情報収集

- 企業が求めていることを調べた
- 過去の受賞作品を見たり、企業について調べた



②アイデアの発散

- 旅でも求めているもの、経験を付箋に記入した
- テーマから思い、経験、イメージを付箋に記入して共有した



③グループ化

- 全体的に手が止まったら、一番自分たちが共感、面白い、しっくりくるといったものを選び、採用した



④コンセプトを決める

- コンセプトから連想できるものを書いて付箋に記入した
- 文章や単語で記入し、共有した



⑤グループ化

- アイデアの具現化を行った
- 色やどの場面に使うか、どこに置くかを付箋に書いて連想した



⑥アイデアの選択

- 全体的に手が止まったら、一番自分たちが共感、面白い、しっくりくるといったものを選び、採用した



⑦ものが決まる

- ホワイトボードに設計図や考えていたイメージ図を共有して、1番考えたコンセプトに合っているイメージ図を改良し、決定した

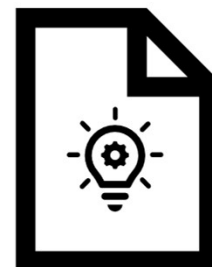


⑧コンテストに向けた資料作りと設計図の作成

- CGを使った設計と、書いた付箋を基に資料文章の作成した

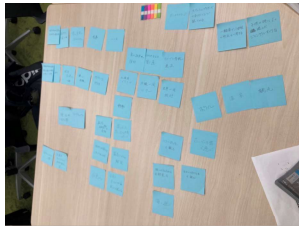


⑨完成

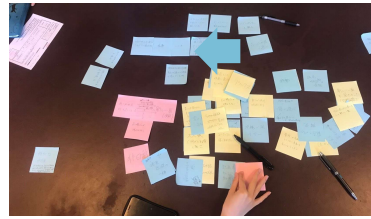


アイデアの提案

チームメンバー：小宅臯月、花田千紗、恒川愛乃、佐々木福音、小川優介



テーマに対する思いを付箋に書き出した



付箋の色を変えることで具体的に意見の共有を行った



ガラスの切符

パンデミックは西暦なしに私たちが渦の中に巻き込んだ。
不安と驚愕する中で1つの光が差し込む。
ガラスはキラキラして私たちの心を引き寄せる。
そこから見える風景はわくわくした気持ちを呼び戻し、
次の旅へ心を走らせるだろう。

切符は、これからの行き先を示すものです。
これに出現地点と行き先を過去と未来にすることで、
次に進むための切符を表現しました。
また、この素材をガラスにすることで、
光の反射を利用して見方を変えることができるという性質を利用し、
視点取り入れられない視点を表現できたと思います。



完成したコンセプトから私たちだけのアイデアを導き出した

まとめ

突飛なアイデア性だけではなくテーマを噛み砕き、アイデアの発散を行い同じ方向性でコンセプトを決める難しさを実感した。皆の意見や提案を組み合わせることで作っていくアイデアは面白く、完成した時は達成感を得ることが出来た。

Q.アイデアの発散方法のコツは

A.まず、人が考えたものを否定せずしっかり最後まで聞いた。
また、被ってもよいのでとにかく思いついたものを書いていく事が発散のコツだと今回のプロジェクトリサーチを通して思った。

Q.アイデアの発散目的は

A.自分とは違う意見を聞くこと
新たな考えが話して思いつくかもしれない
共通認識の理解

Q.デメリットは

A.方向性の統一が難しいかなと思った。
人数が多ければ多いほど良いというわけではないかなと感じた。

Q.受賞した作品を見て思った事は

A.作品に秘めた想いを確実に伝えられる文章力が
受賞する秘訣なのかなと思った。
着眼点の違いや発想力のレベルの差を感じた。